

# 妙安寺だより

2024. 3. 4

No. 188号



本年1月1日に発生した能登半島地震により、大切なご家族を亡くされ、  
住まいや故郷に甚大な被害を受けられた全ての方々に、心よりお見舞い申し上げます。

このたびの地震の影響を受けた北陸の地は真宗門徒の多い地域です。とりわけ震源地である能登地方は近年度重なる地震により、多くの寺院・ご門徒が甚大な被害を受け、今なお深い悲しみと不安な日々を過ごされています。そのなかでご本山はじめ現地の寺院は、支援物資は当然ながら、さらに手を合わせる場を整えるべく本尊（仏様の掛軸）を授与して、共にお参りをしています。北陸の地に代々受け継がれ根付いている亡き方々を訪い、自身を振り返る時間と場を作るためです。

もうすぐ春季彼岸を迎えます。お彼岸は、太陽が真西に沈む彼岸中日に、西方浄土と言われる仏様の世界（彼岸）を思い、自らのいのちも帰していくいのちであることを受けとめ、今の生き方を見直し、いのちの回復を願う期間です。

能登の皆様も私達も、どのような境遇におかれても、先人を訪いつつ、今の生き方を見直し、いのちの回復を願う時間と場を大切にしていかなければなりません。お寺参りやお墓参りをとおして、自らの生活を、自身の人生観や価値観を見直すご縁としていきましょう。合掌

## 【春季彼岸会のご案内 本堂でお待ちしております】

3月16日（土）14時、17日（日）11時

20日（水）①11時 ②14時

本堂で法要後、合同墓にてお勤めいたします



妙安寺のさくら 昨年は3月末が満開でした



## 聖徳太子講

4月7日(日) 10時 勤行(太子堂)

勤行後、法話(本堂)

本年は、太子堂での勤行の後に本堂で「ひばりの会」による妙安寺や開基、そして太子講の歴史について朗読をしていただきます。

### 是非、お参りください

※コロナにより延期になっている開基 750 回忌法要のご法話でお願いしていた内容です。

【朗読グループ「ひばりの会」の紹介】 坂東市はじめ各地で読み聞かせのボランティア活動をされています。その活動は、本の朗読だけでなく各地に残る昔話や歴史についても触れており、大人から子供まで広く人気があります。当寺は、旧本堂の時分より毎年公演会場として本堂を提供しており、10年以上ご縁をいただいています。

### 【ペット墓 建立のお知らせ】

「お寺さんでペットのお墓ありませんか？」という声を多数いただきまして、このたび本堂の裏に建立いたしました。

納骨料 ペット1匹1万円

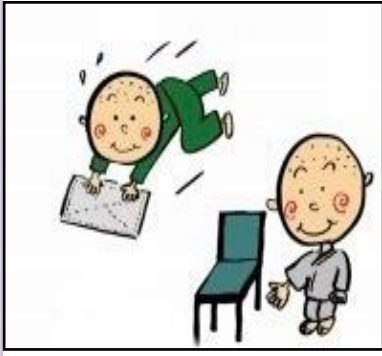
合葬のみとなります。

個別のお墓はありません。

詳細は住職までお問い合わせください。



## 連載「仏教のおしえー<sup>しょうざせ</sup>床<sup>むざい</sup>座<sup>しちせ</sup>施（無財の七施の⑥）ー」



床座施は、「座」に対する行いで、「座を提供する」ことです。例えば、電車などで席を譲ることや少しずつ詰めて座れる場所を作ることです。現代においては、この床座施とは正反対の行いが目立ちます。自分の前に立つお年寄りや妊婦さんと目を合わさないようにスマホから目を離さずバリアを張っていたり、「この席は優先席ではないから」と言い訳を考えて知らぬ顔でいたり。

わざわざ「シルバーシート」や「優先席」を設けなくてはならないのは残念なことです。必要なのは、少しの思いやりと「どうぞ」と言う勇氣です。

座席以外にも、「社長のイス」などという「座」にしがみつかないで地位や立場を譲ることでもあります。後続に活躍の場を与える事につながります。

さらに、「いつ帰ってきてもあなたの居場所はあるよ」と居場所を用意する。一人ひとりに居場所が必要です。皆様、ありますか？ちなみにお寺は、全ての人に対して家や学校・職場以外の第三の居場所です。そうなることが願われて相続されてきています。

床座施は、全てのものを分かち合い、譲り合う心が大切であることを教えつつ、同時に何事においても独り占めをしてしまおうとする私たちの心根を明らかにして下さる布施であると言えます。

『花すみれ 2022年11月号』

## 【第6回 妙安寺手作り市】

日時 2024年3月31日（日）

11時から15時まで

ブース数 内外あわせて40ブース以上 ※昨年より多いです！

出店内容などの詳細は、パンフレットをご覧ください。



